

市民からのお便り (親子クイズ) 時々電車に乗りますが、景色を見ながらのんびりいいですね。

市民からのお便り (親子クイズ) クイズ解答のため電車に乗ってきました。楽しかったです。時々電車で出かける事にしました。

中学校の国語の教員を目指して、大学の文化学部で勉強をしています。中学校時代、陸上部の顧問の先生に憧れて中学校の教員を目指すようになりました。厳しい先生でしたが、先生の指導があったからこそ、今までやってこれたのだと思います。自分も先生と同じように、生徒との距離が近過ぎず遠過ぎず、一歩引いて見守っていただけるような教員になりたいと思います。

大学では、イベントサークルやボランティアサークルに所属していて、学校外の人たちと、社会勉強も兼ねて積極的に交流するようにしています。

勉強は、得意ではないけど、好き、とのこと。そんな吉本さんが先生だったら、生徒も勉強が好きになるかも!?

憧れの先生のように



よしもと まこ 吉本 眞子さん (東山町)

にこにこライフ

175



やりがいのある仕事



かわむら しょうた 川村 尚大さん (中谷)

高校卒業後、県の林業事務所で働き始めて2年目になります。まだまだ経験が浅いので、業者の方などの話についていけない時もありますが、担当した工事が完成した時の達成感は大きいですし、やりがいを感じます。ただ職場が須崎ということもあり、高速道路を使っても1時間近くかかってしまうので、毎朝大変です(笑)。

趣味は小学1年生から続けているサッカーです。今も社会人チームに所属していて、フットサルもしています。試合を見るよりも、やっぱり実際に自分でプレーする方が好きですね。

落ち着いて受け答えする姿がとても頼もしく感じました。仕事でもサッカーでも周りから頼られる存在なのでしょう!

親子クイズ 513

Q 「伊勢神宮」からの問題!
次の空欄にあてはまる文字は何でしょうか?

- ①伊勢神宮の参拝は、宮から宮の順が習わしです。
- ②伊勢神宮の参拝通行は、外宮は側、内宮は側通行です。
- ③伊勢神宮のお参りは、拝拍手拝します。
- ④伊勢神宮には、注連縄、、、はありません。
- ⑤伊勢神宮には、神社に必ずある箱はありません。

【第512回解答】

- ① 東
- ② 中
- ③ 西
- ④ 工
- ⑤ 吉
- ⑥ 原
- ⑦ 小

【第512回当選者】

- 今西 由美子 (大埴甲)
- 北川 紀子 (大埴甲)
- 久保川 亜里 (大埴甲)
- 中田 朋子 (浜改田)
- 柳本 寿麻 (国分)

■応募締切/2月12日(木)必着
■あて先/〒783-8501
南国市大埴甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募
■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数/58通 ★正解率/98%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

インターネットつながって 48 人権学習シリーズ

インターネットによる人権侵害の特集記事が広報12月号に出たばかりですが、先日、私の周りでもインターネットによるトラブルが起こってしまいました。

私の知人になりますが、本人の知らないうちに、個人の情報をインターネット上に掲載されてしまい、掲載された知人はショックで傷ついてしまいました。書き込んだ人自身は、ちょっとした遊びのつもりで掲載したようで、相手がそれほど傷つくとは思っていなかったようです。書き込まれて傷ついた知人と、軽い気持ちで書き込んだ人と、受け止め方の違う二人を見ていると胸が痛む思いです。

今や、パソコンのみならずスマートフォンやタブレットにより、当たり前のようにインターネットにアクセスできます。手軽に情報がやり取りできる時代になりましたが、書き込んだ情報は世界中に拡散していき、時には人を傷つけること

「インターネットに思いやりを」

もあるということについても考えてみましょう。

インターネットは、顔が見えないので現実世界ではどうなのか思いをめぐらす必要もあるのではないのでしょうか。立場は人それぞれに違います。お互いの認識の違いや、そのずれによって、誰かが傷つく可能性がないのか、顔が見えないからこそ一度立ち止まって考えることや、思いやりが大事だと思います。

*このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間にあなたかなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
(☎880・6569)まで

なんこく歴史散歩 第27回

岡豊城から国分川を挟んで対岸の岡豊町吉田には、長宗我部氏の片腕として活躍した吉田氏の吉田城跡があり、南側の土塁の一角には「吉田備後守邸趾」という石碑が建っています。東西90m、南北50mの範囲が現在も高さ2mにもなる土塁に囲まれており、堅固な城であったことがうかがえます。

「東の広井城、西の吉田城」と言われ、岡豊城の守りの要を担っていました。地名にも「詰屋敷」や「吉田屋敷」「東土居」「馬場」「弓場」などのホノギ(小字)名が残されています。



石碑

「吉田城跡」ー長宗我部氏の片腕 吉田一族ー

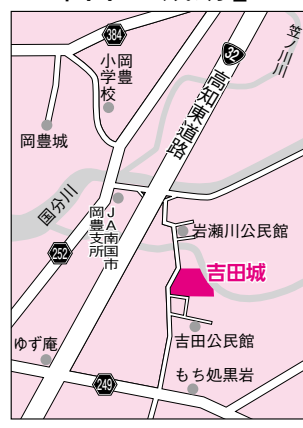
その隙に乗じて安芸國虎が岡豊にせまってきました。岡豊の軍は不意をつかれましたが、重俊の力戦によってそれを退けることができましたという逸話もあります。

また、吉田氏の子孫には、幕末の重臣吉田東洋がいます。土佐藩主山内容堂の信任が厚く、容堂の下で公武合体論を推進しましたが、土佐勤王党の刺客に倒れました。

このように、時代の波に揉まれた吉田一族ですが、吉田城跡は今も静かに時代を見守っています。



吉田城跡の土塁



※お問い合わせは
生涯学習課文化財係
(☎880・6569)まで